

歯科における内科学実習（橋本 達夫）

Training of Internal Medicine in Dentistry（Tatsuo Hashimoto）

キーワード

①全身管理医歯学 ②内科学 ③医療倫理・医療安全

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

授業概要

歯科において安全な医療を提供するために必要な、内科的アプローチを実習する。

授業科目の学修目標

歯科において遭遇する主要な疾患について、症候学・診断学からどのように結びつけるのかを習得することを学修目標とする。

授業計画

- ①内科学入門および症候学・診断学入門：高血圧、糖尿病、脳心血管病、骨粗しょう症、呼吸器疾患について、発熱、高血圧、浮腫といった主要な症候との関連について、実際の症例を用いて学修する。30コマ 橋本達夫
- ②臨床研究計画の立案と医療倫理の実践を学修する。：30コマ 橋本達夫
実習担当教員 青木一孝 橋本達夫

教科書および参考書

歯科のための内科学(改訂第4版) 西田次郎 他編 南江堂

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

臨床研究に必要な倫理について、倫理審査を通して学修する。

大学院生が達成すべき行動目標

歯科で遭遇する主要な症候と、その疾患について、実際の患者を通じて学修する。
医療倫理・医療安全について、倫理審査等を通して学修する。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
成果発表80%、口頭試問20%	%	%	%	%	%	%	%

評価の要点

学会等での研究発表を行う。口頭試問は、実習時に行う。

理想的な達成レベルの目安

学位審査に耐える研究成果を解析し、発表ができる。